

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。
 検鏡の結果、赤潮原因プランクトンであるヘテロシグマ・アカシオが最大200細胞/ml確認されました。
 ショウジョウバエ・弘浦奥では海水の着色が見られ、ショウジョウバエの着色域(表層)はヘテロシグマアカシオが**3,950細胞/ml**、弘浦奥の着色域(表層)においてはヘテロシグマアカシオが**8,780細胞/ml**それぞれ確認されました。本種は50,000細胞/mlを超えると魚類のへい死を引き起こす可能性があります。今後も飼育魚の状態や水色には注意をしてください。
 今後、飼育魚や水色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

※(本日の調査は、クロロフィル量が多い水深、および0m、5m、10mの水深から採水した海水1mlの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	ヘテロシグマ アカシオ
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)	(細胞/ml)	
藻津① (別図⑨) 採水時間 9:11 透明度 -	カマノイル極大層 5	21.5	33.3	7.2	0	0
	0	21.2	27.9	7.2	0	7
	5	21.5	33.3	7.2	0	0
	10	21.6	33.5	7.0	0	0
大島中央① (別図⑤) 採水時間 9:23 透明度 -	カマノイル極大層 5	21.5	33.3	7.4	0	2
	0	21.5	31.0	7.2	0	35
	5	21.5	33.3	7.4	0	2
	10	21.4	33.5	7.3	0	4
小筑紫中央① (別図⑬) 採水時間 9:35 透明度 -	カマノイル極大層 8	21.3	33.3	7.3	0	0
	0	21.7	17.8	8.0	0	0
	5	21.3	33.3	7.3	0	0
	10	21.3	33.4	7.3	0	0
栄喜奥 (別図②) 採水時間 09:56 透明度 -	カマノイル極大層 5	21.7	33.8	7.2	0	0
	0	20.9	12.6	8.9	0	0
	5	21.7	33.8	7.2	0	0
	10	21.4	34.0	6.2	0	0
青瀬山 (別図③) 採水時間 10:06 透明度 -	カマノイル極大層 5	21.8	33.8	7.0	0	0
	0	21.1	20.0	7.7	0	200
	5	21.8	33.8	7.0	0	0
	10	21.6	33.9	6.7	0	0
弘浦② (別図①) 採水時間 10:30 透明度 -	カマノイル極大層 5	21.6	33.8	6.4	0	0
	0	21.4	13.6	8.1	0	40
	5	21.6	33.8	6.4	0	0
	10	21.5	33.9	6.4	0	1